

1 月補正予算の概要について

【担当 財政課】

一般会計総額	現計予算	152億 69万円
	今回補正額	2億1386万円
	合計	154億1455万円

主な事業

●国の補正予算に伴う物価高騰対策等【明許繰越】

- 1 住民税非課税世帯等に対する給付金 1億1,629万円
令和6年度住民税が非課税である世帯に対し、1世帯あたり3万円等を給付

〈推奨事業メニュー〉

- 2 商品券の全戸配布 7,400万円【明許繰越】
市内小売店等で使用できる商品券（5,000円分）を全世帯に配布
商品券使用期間：商品券発送～令和7年5月頃まで（8週間程度を想定）
- 3 地域公共交通確保対策事業費 290万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている地域公共交通事業者（鉄道、路線バス、タクシー）に対し燃料費等を支援
- 4 社会福祉施設等特別支援事業費 694万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている障害福祉、介護サービス事業者に対し燃料費等を支援
 - ・障害福祉サービス 63万円
 - ・介護サービス 631万円
- 5 私立保育所等運営事業費 188万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている保育施設等に対し燃料費等を支援
- 6 公衆浴場特別支援事業費 6万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている一般公衆浴場事業者に対し燃料費等を支援
- 7 豊かな農村づくり推進費 954万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている農業者に対し燃料費等を支援
- 8 漁業振興事業費 225万円
エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている漁業者に対し燃料費等を支援

●財源：臨時交付金 1億9,145万円、一般財源 2,241万円

滑川ほたるいか海上観光2025について

【担当 水産観光課】

ほたるいか海上観光2025の概要についてお知らせいたします。

1 実施期間

令和7年4月1日（火）～5月6日（火・祝） 36日間

2 定 員 40名（「キラリン」のみ）

3 受付時間 午前2時～2時15分（ほたるいかミュージアム売店） （乗船場所への移動を考慮し、従来より受付時間を5分繰上げ）

4 出航時間 午前2時30分

5 料 金 大人 8,000円、小中学生 4,000円（未就学児は乗船不可）

6 予約について

令和7年1月15日（水） 市内宿泊プラン受付開始

2月16日（日） 乗船券のみのWeb予約開始

FIREFLY SQUID BOAT TOUR 2025

滑川ほたるいか 海上観光2025

2025年 4/1(火)～5/6(休)

ここでしか味わえない、
光の感動。

- 定員 / 40名
 - 乗船受付時間 / 午前2時00分～2時15分 (時間厳守)
 - 出港時間 / 午前2時30分
 - 集合場所 / ほたるいかミュージアム売店
 - 観覧コース / 滑川漁港～ホタルイカ定置網～滑川漁港
 - 観覧料金(税込) / 大人 8,000円・小・中学生 4,000円(未就学児は乗船不可)
- ※状況により、開催内容を変更する場合がございます。

必ず事前の
ご予約が
必要です

2025年 1月15日(水) 9時～2月5日(水) 17時 〈滑川市内宿泊付きプラン〉予約受付!

予約申込先

▶各宿泊施設にお申し込みください

2025年 2月16日(日)～ 〈乗船券のみweb予約〉※乗船日の45日前より受付となります

予約申込先

▶ほたるいか海上観光 <https://hotaruikamuseum.com/tour> ※電話予約不可

・ご予約は乗船希望日の2日前まで・ご予約時のクレジット決済(現金不可)・複数日のご予約はできません

天候不順等により、やむを得ず欠航する場合がありますので、ご了承ください。

お問い合わせ

ほたるいか海上観光(株)ウェブ滑川 Tel.076-476-9307 (午前9時～午後4時 火曜日休業)

<https://hotaruikamuseum.com/tour> kankousen@hotaruikamuseum.com

道の駅ウェーブパークなめりかわ 〒936-0021 富山県滑川市中川原410



滑川
ほたるいか
海上観光

滑川ほたるいか海上観光2025

早朝の滑川漁港を出港し、定置網でのホタルイカ漁を観光船から見学します。夜明け前の海上で、幻想的にきらめく不思議な光の群れをご堪能ください。

富山湾



ホタルイカ定置網

ホタルイカ発光ショー



ホタルイカの発光ショーって？

ほたるいかミュージアムで春だけ上演している大人気のショー。ホタルイカが実際に発光する様子を見てもらう参加型シアターです。

ダイオウグソクムシやチンアナゴも展示中!!



出航の場合は、帰港後にホタルイカ市場を見学できます。

滑川漁協
地方卸売市場

滑川漁港



発着場所

県道1号 至魚津

周辺マップ



ナピカ
ほたるいかミュージアム
キャラクター

出航・欠航はいつわかるの？

- ・ほたるいか海上観光のSNS[X・Instagram]とホームページでお知らせします。
- ・まず前日の18時に×欠航 / △判断中を表示します。
- ・当日1時に○出航 / ×欠航 を表示してお知らせいたします。

もし欠航になったら？

- ・乗船料金はいただきません。
- ・乗船日当日の9時～17時[最終入館16時30分]にほたるいかミュージアムをご見学いただけます(無料)。

ほたるいかミュージアム

[営業時間]9:00～17:00 ※入館は16:30までをお願いします。
[休館日]6月1日～3月19日の毎週火曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

入館料 2025年3/20～5/31		Tel.076-476-9300	Fax.076-476-9301
個人	大人	820円	E-mail:info@hotaruikamuseum.com 富山県滑川市川原410 https://hotaruikamuseum.com
	小人	410円	

※時期により入館料が異なります。詳しくはホームページでご確認ください。
※大人は高校生以上、小人は3歳～中学生まで

宿泊付きプラン対応施設

送迎については各施設までお問い合わせください。

えびげん 海老源

Tel.076-475-5656

Fax.076-475-5657

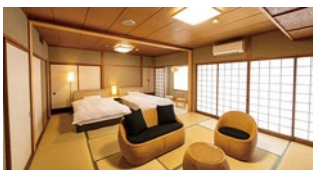
<https://ebigen.jp>

富山県滑川市上小泉 2155

■駐車場/敷地内に無料駐車場有 (50台)

■アクセス

- ・滑川駅[あいの風とやま鉄道/富山地方鉄道]から自動車で約9分
- ・中滑川駅[富山地方鉄道]から徒歩約13分
- ・北陸自動車道 滑川ICから自動車で約7分
- ほたるいか海上観光受付場所まで自動車で約8分



えび 海老よし

Tel.076-475-0356

Fax.076-475-7486

<https://hotel-ebiyoshi.com>

富山県滑川市田中町 200-1

■駐車場/敷地内に無料駐車場有 (20台)

■アクセス

- ・滑川駅[あいの風とやま鉄道/富山地方鉄道]から自動車で約5分
- ・中滑川駅[富山地方鉄道]から徒歩約5分
- ・北陸自動車道 滑川ICから自動車で約13分
- ほたるいか海上観光受付場所まで自動車で約8分



なめりかわ スカイホテル滑川

Tel.076-475-8833

Fax.076-475-9978

<https://skyhotel-namerikawa.jp>

富山県滑川市辰野1375

■駐車場/敷地内に無料駐車場有 (30台)

■アクセス

- ・滑川駅[あいの風とやま鉄道/富山地方鉄道]に隣接
- ・北陸自動車道 滑川ICから自動車で約10分
- ほたるいか海上観光受付場所まで徒歩約10分



Namerikawa Granvilla Grappa

Tel.076-474-0081

<https://toyama-glamping.com>

富山県滑川市大林81-1

■駐車場/敷地内に無料駐車場有

■アクセス

- ・中加積駅[富山地方鉄道]よりタクシーで約15分
- ・北陸自動車道 滑川ICから自動車で約10分
- ほたるいか海上観光受付場所まで自動車で約16分



「富山の塩」販売開始について

【担当 水産観光課】

昨年度まで、市で行っていた海洋深層水天日塩「健好の塩」に係る製造・販売に関する業務について、今年度から民間事業者で実施することとなり、天日塩製造施設において塩の製造を行ってまいりました。このたび「富山の塩」として販売することとなりましたので、お知らせいたします。

1 名 称 富山の塩（とやまのしお）

2 製造及び販売者

株式会社 I M A T O 代表取締役 東海 勝久

所在地 射水市本町 3－1－6

3 販売開始日 令和 7 年 1 月 10 日（金）

4 販売価格 1,200 円（税込） 内容量 100 g 小粒

5 商品の特徴等

滑川市で取水される海洋深層水を原料とし、太陽熱で蒸発させ塩をつくる「天日塩」。天日による蒸発のみで濃縮させることから、「塩の味」より先に「甘味」や「苦味」を感じることができる独特の味わいを持っています。

6 販売場所

（株）I M A T O、（株）ウェーブ滑川

職員の兼業で地域貢献活動を推進することについて

【担当 総務課】

職員が報酬を得て事業に従事する場合には、地方公務員法の規定により市長の許可が必要とされています。

職員が勤務時間外を活用して積極的に地域貢献活動へ参加することで、市民との協働によるまちづくりがより一層活発になることが期待できることから、地域貢献活動の対象となる活動を明確化し、それぞれの職員が持つ能力に合った活動が取り組めるよう、地域貢献活動に従事する場合の許可基準について定めることとしました。

1 対象となる活動

公益性が高く、継続的に行う地域貢献活動であって、報酬を伴う活動であること。

- ・ 伝統行事や地域イベントの進行に関する活動 【イベント従事者など】
- ・ 地域ブランドや地場産品のプロモーション活動 【観光ガイドなど】
- ・ 地域の防災、防犯に関する活動 【消防団など】
- ・ スポーツや文化芸術活動の指導・支援 【学校の部活動支援員など】
- ・ 住民の生活支援や福祉に関する活動 【手話通訳士など】
- ・ 移住者受入れや定住促進に関する活動 【移住支援員など】
- ・ 農林水産業の推進を図る活動 【農事組合法人の構成員など】
- ・ その他公益性の高い地域的、社会的な貢献活動 【講演会講師】 など

2 適用日

令和 6 年 12 月 5 日